

令和元年度 NHK歳末たすけあい受配事業

居場所づくり 支援事業

報告書



社会福祉法人
大阪市社会福祉協議会

はじめに

地域生活課題が複雑化、多様化しているなかで、「居場所」が、人と人とのつながりの場として、また地域のつながりづくりの拠点として注目され、広がりを見せています。

孤立を防ぎ、人と人が支え合うことができる地域づくりを推進していくため、大阪市社会福祉協議会では、NHK歳末たすけあいの配分金を活用した事業「居場所づくり支援事業」を、平成30年度から実施しています。

さまざまな形の居場所の取組みを紹介することにより、今後の各区・地域における新たな活動の展開の一助にいただければ幸いです。

もくじ

地域団体	「脳トレ健康マージャン」／〔西区〕江戸堀地域社会福祉協議会	1
	「ポッチャを通じた介護予防・居場所づくり」／〔天王寺区〕五条地区社会福祉協議会	2
	「動く居場所『今里オケピ!』～今いる場所をみんなで共有～」／〔東成区〕今里社会福祉協議会	2
	「各世代が交流できる場“アツとほーむ高殿南”」／〔旭区〕高殿南校下社会福祉協議会	3
	「健康麻雀を通じた地域住民の居場所づくり・健康促進」／〔城東区〕鯉江アクションプランプロジェクトチーム	3
	「健康麻雀を通じた地域における居場所づくり・健康づくり」／〔城東区〕今福アクションプランプロジェクトチーム	4
	「健康体操を通じた居場所づくり」／〔西成区〕弘治社会福祉協議会	4
	「萩之茶屋地区福祉活性化支援事業(萩之茶屋文化祭)」／〔西成区〕萩之茶屋地区社会福祉協議会	5
各種団体	「不登校・ひきこもり当事者と地域住民との交流事業～居場所deアート～」／〔中央区〕特定非営利活動法人フォロ	5
	「となりのとなり」／〔東住吉区〕株式会社アシスト	6
	「住民が集える居場所づくり事業」／〔西成区〕あゆみ工房	6



江戸堀地域社会福祉協議会

脳トレ健康マージャン

西区

取組み内容

男性でも参加しやすいコミュニティ作り、世代間交流、脳トレによる認知症予防、転入者が地域交流の一步になる窓口作りを目的とした「脳トレ健康マージャン」教室。参加者の中の麻雀経験者が、初心者に教えながら、皆で麻雀を楽しむ場を提供している。江戸堀地域にお住まいの方々の居場所づくり、高齢者の生きがいづくりにもなっている。

取組みの成果・今後に向けて

令和元年9月の開始時は、月2回の開催で、参加者も1回10人に満たなかったが、声かけや口コミで参加者が増加。多い時には20人を超えるようになった。

普段喫茶などの行事には参加しない男性の参加も多く、認知症予防はもちろんのこと、コミュニティ作りにも大いに役立っている。

参加者が意欲的・積極的に毎週開催してほしいとの要望も多くなり、令和2年1月からは毎週火曜日に開催している。今後、参加者に積極的に運営に関わってもらうことで参加者同士の交流の促進や自発性を高めていきたい。

開催日時

毎週火曜日 13:30～15:30

活動場所

江戸堀連合会館3階
(西区江戸堀3-8-1)

参加対象

どなたでも

参加費

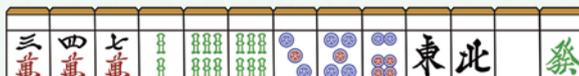
お茶代100円

問合せ先

江戸堀連合会館
06-6444-1122

令和元年度参加人数など

15回実施し、のべ202人が参加





開催日時

毎月第3日曜日
10:00~15:00

活動場所

高殿南老人憩の家
(旭区高殿3-21-1)

参加対象

幼児から高齢者まで

問合せ先

高殿南老人憩の家
06-6956-1389

令和元年度参加人数など

5回実施し、のべ75人が参加。

“あっとほーむ高殿南” 居場所づくり 高殿南老人憩の家“開放デー”

高殿南校下
社会福祉協議会



取組み内容

テーマは「寛げる・アットホームな居場所づくり」。
地域には高齢者が多く「隣近所との付き合いがほとんどない」「頼る人・相談できる人がいない」などの日常生活に不安を感じる声を聴き、気軽に立ち寄り、出会い、新しい仲間作りのできる場所として憩の家を多くの地域住民に開放する。

取組みの成果・今後に向けて

コミュニケーション麻雀は人気があり、毎回楽しみに来られる方が常時いる。毎回来られている方が知り合いの方に声をかけて一緒に来るなどして、当初より参加人数が増えている。

今後も声かけのお願いをして少しずつでも参加人数を増やしていきたい。



開催日時

毎月第2月曜日
13:30~15:30

活動場所

鯉江憩の家
(大阪市城東区今福西6-5-30)

参加対象

城東区内の方どなたでも
(高齢者が中心)

問合せ先

鯉江憩の家
06-6935-6655

令和元年度参加人数など

6回実施し、のべ128人が参加。

鯉江アクションプランプロジェクトチーム

健康麻雀を通じた地域住民の 居場所づくり・健康促進



取組み内容

①「健康麻雀講座」

コミュニティ健康麻雀協会より講師を招き、2回の健康麻雀講座を開催した。経験者だけでなく初めての人も楽しめるよう、経験者と初心者の卓を分け、初心者向けの講習をすることで、経験者だけでなく初心者の方も気軽に参加できるような場を設けた。

②「健康麻雀の会」

毎月1回、2時間程度で健康麻雀の会を開催した。初心者と経験者で卓を分け、経験者の卓は自由にプレイしてもらうようにし、初心者の卓は運営メンバーが横から助言等でサポートしながらすすめた。すべての参加者が楽しめるような場を提供できるよう努めた。



取組みの成果・今後に向けて

各回ともに20人前後の参加者があり、地域住民の居場所、ふれあいの場として一定の成果が出たのではないかと感じる。また麻雀経験者の方だけでなく、これから麻雀を始めるといふ参加者も多く、「考えることがたくさんあり頭を使う」「覚えることも多くて、脳トレに非常にいい」などの声も聞くことができた。

今後は、近隣の関係施設等とも協力しつつ、さらに事業を拡大・定着させていきたい。



健康麻雀を通じた 地域における 居場所づくり・健康づくり

今福アクションプラン・
プロジェクトチーム



取組み内容

サロン運営の前段階として11月～12月にはコミュニティ健康麻雀協会より講師を招き、事業参加へのきっかけづくりとなる健康麻雀講座を開催。

その後65歳以上の高齢者を対象とし、「飲まない(お酒)」「吸わない(タバコ)」「賭けない(お金等)」というスローガンのもと1月より月1回のサロンを運営。

取組みの成果・今後に向けて

認知症予防や健康促進だけでなく、参加者同士が楽しみながら交流することで地域でのつながりづくりにつながった。

参加者の中には日頃の地域福祉活動への参加が乏しい男性も居られ、継続して参加するだけではなく、初心者へのサポート役を担っていただいている方もいることから「男性の活躍の場」にもなりつつある。

想定していた以上に健康麻雀に興味を持っている方が多く、常に麻雀卓・牌が足りない状況が続いていることから今後は月2回以上の開催を検討している。



開催日時

毎月第4木曜日
13:30～16:00

活動場所

今福老人憩の家
(城東区今福4-13-23)

参加対象

65歳以上の方

問合せ先

今福老人憩の家
06-6933-0057

令和元年度参加人数など

3回(講座2回、サロン1回)
実施し、のべ100人が参加。



健康体操

弘治社会福祉協議会



取組み内容

当地域は、日頃から高齢者食事サービスやふれあい喫茶を実施。また、盆踊りやグランドゴルフなど、さまざまな活動をしている。まだ地域の催し等に参加されていない地域住民の方に声をかけ、できる限り、新規の参加者を募り、体操終了後には、毎回懇親会を実施し、参加者同士の交流と知り合いの輪が広がるよう努めた。



取組みの成果・今後に向けて

事業実施の目標であった閉じこもりがちな高齢者、オートロックにお住まいの独居高齢者などを中心に働きかけた。

健康体操終了後には、毎回、懇親会等で交流し、参加者全員が打ち解けるなど、今後の地域の催しへの積極的な参加、社会参加につながる事業になったと考える。

開催日時

毎月第1・3水曜日
10:00～12:00

活動場所

弘治会館
(西成区鶴見橋1-5-19)

参加対象

地域の高齢の方等

問合せ先

弘治会館
06-6649-3355

令和元年度参加人数など

18回実施し、のべ297人参加。

萩之茶屋地区福祉活性化 支援事業(愛称:萩之茶屋文化祭)

西成区

取組み内容

萩之茶屋地区福祉活性化支援事業の一環として、「萩之茶屋文化祭」を10/18・19日の両日で開催した。会場は、西成市民館を一日目の会場にして、3階講堂では、演芸、演劇、歌謡ショー等を行った。同3階の会議室では、絵画、陶芸、手芸、書道、科学工作等を展示した。この展示室は、17日から19日までの3日間開場した。二日目は、地域の萩之茶屋北公園を会場にして、演芸大会やバザー、軽食コーナーを行うはずであったが、前夜よりの雨が止まず急遽、会場を市民館に移し飲食、バザー以外の演芸物を行った。

出演者は、当地区の住人、ボランティア、社会福祉施設の利用者と職員などを中心として、ゲストにプロのシンガーソングライターを迎えた。

取組みの成果・今後に向けて

多くの地域住民が、この文化祭を心待ちしていた。劇やコーラスに出演し、また観客として、あるいはボランティアとして参加することで、この地区の住民としての自覚が生まれるきっかけとなった。

また、今回の文化祭を通じて、西成市民館をはじめとした諸団体の活動の内容が広く知られることとなった。文化祭を行ったことで、活動に参加あるいは外部協力をした福祉施設や、地域のNPO、ボランティアグループのネットワーク化が図られることとなった。具体的には、今まで不定期に開催していた、「野宿者支援の相談会」、「健康相談会」、「歯の健康相談会」、「萩之茶屋ふれあい喫茶」「音楽演奏会」などが、毎月あるいは隔月、4半期毎に定期的で開催されるようになり、日常的活動に繋げ広がった結果、住民の居場所の回数が増え、支援団体の取組みの一層の活性化が図られた。



開催日時

令和元年10月18日・19日(文化祭)
※ふれあい喫茶など定例開催

活動場所

西成市民館と萩之茶屋北公園
(通称:仏現寺公園)

参加対象

萩之茶屋地区及び周辺の住民と
ボランティア、社会福祉関係者

問合せ先

西成市民館(西成区萩之茶屋2-9-1)
06-6633-7200

令和元年度参加人数など

2日間実施し、
のべ800人が参加。



不登校・ひきこもり当事者と地域住民 との交流事業 ～居場所 de アート～

中央区

取組み内容

当法人のオープンスペースで、不登校・ひきこもりの当事者や関係者、地域住民などが一緒に参加できるワークショップを開催した。

1回目は、体験型アートワークショップ「ロールキャンパスにペインティング!!」を開催。ロールキャンパスを会場の壁面と床に取り付け、参加者に自由に絵を描いてもらう。2回目は、書き初めワークショップ「書き初めに挑戦!!」今年の一文字を自分で決め色紙に書き初め。横画と縦画の基本練習の後、四角い渦を書く練習、自分で決めた一文字の練習など。3回目は、世代間コミュニケーションクラフトワークショップ「紙芝居の読み聞かせ&けしごむはんこでカード作り!!」で手作りの紙芝居の読み聞かせと、けしごむはんこを使ったカード作り。講師による紙芝居の読み聞かせのほか、フリースクールの子どもも参加者に向けて絵本の読み聞かせをしてくれた。その後、けしごむはんこを使って、子どもも大人も一緒になってカード作りを楽しんだ。

取組みの成果・今後に向けて

当法人では、新たに、フリースクールの一部で、不登校・ひきこもりの当事者や関係者、地域住民や市民などが集えるオープンスペースを、令和元年6月より運営している。この取組みを地域住民などに周知し、相互交流を促進するため、不登校・ひきこもりの当事者や関係者、地域住民などが一緒に参加できるワークショップを開催した。

このワークショップを実施することにより、不登校・ひきこもりの当事者にとっては、対人関係構築のための社会経験や、自己表現の場を提供できた。地域住民などにとって、アートを楽しむことを通じて、不登校・ひきこもりの当事者や関係者と出会う場となった。普段、関わり合いの少ない双方に接点生まれ、相互理解や啓発意識を高あうことができた。

さらに、本事業を通じ、地域住民や市民にオープンスペースを知ってもらうことで、地域住民にとっても、さまざまな当事者や多様な人たちと出会える場となり、主体的につながりあえることが期待され、今後、居場所として利用してもらうことができる。

開催日時

第1回 令和元年10月21日(月)
第2回 令和2年1月20日(月)
第3回 令和2年3月16日(月)

活動場所

特定非営利活動法人フォロ
オープンスペース

参加対象

どなたでも

問合せ先

特定非営利活動法人フォロ
info@foro.jp

令和元年度参加人数など

3回実施し、のべ25人参加。

となりのとなり

取組み内容

田辺地域の65歳以上の高齢者の方を対象に、百歳体操を毎週1回実施し、体操後にはお茶を飲みながら交流を図った。また、在宅医療のドクターなどを招いて「認知症予防」「健康教室」などの講演会(年2回)を開催し、高齢者の閉じこもり予防と啓発を図った。

また、ランチ会、認知症カフェ(にんやかカフェ)を開催(年10回)し、高齢者が気軽に集える場として定着させていくとともに、食事をみんなで食べながら、健康意識の向上を図った。



開催日時

毎月1~2回ランチ会など開催

活動場所

アシスト靱
(東住吉区山坂2-10-3)

参加対象

田辺地域の65歳以上の方

問合せ先

アシスト靱
06-7502-4490

令和元年度参加人数など

13回実施(講演会2回、ランチ会・認知症カフェ11回)し、のべ109人参加。

取組みの成果・今後に向けて

高齢者の方々が定期的に集うことで閉じこもりの防止につながり、場所が商店街の中にあるので、地域の活性化も期待できる。

本助成で購入したパソコンで、実施計画、活動実績、活動参加者、ボランティア、収支などの管理ができています。

世代を超えた 地域交流の場・憩いの場・ シニアの居場所づくり

取組み内容

世代を超えて地域住民が集い、楽しめる居場所となっている。定例で、手作り(編み物・小物)の会、囲碁・将棋やポッチャ、絵手紙や歌みずきの会(コーラス)などおこなっている。



開催日時

毎週水曜日「手作りの会」、毎月第2金曜日「歌みずきの会」、毎月第3水曜日「絵手紙」など 14:00~16:00

活動場所

あゆみ工房
(西成区南津守3-5-14)

参加対象

どなたでも

参加費

お茶代100円

問合せ先

玉出地域包括支援センター
06-6651-6888
南津守地域総合相談窓口
06-6656-7001

令和元年度参加人数など

定例の取組みを月に約6回実施し、のべ720人が参加。

取組みの成果・今後に向けて

“居場所”として、地元の方や周辺地域の方の参加があり、広がっている。

また、ボランティアや参加者のそれぞれができることを持ちよりながら、運営にも自主的に参加されている。

「参加して元気が出た」「気持ちが明るくなって、友達もできた」「コーラスで大きな声をだして気持ちよかった」などの声も聞かれ、今後も地域のみんなが楽しく過ごせる居場所をめざしたい。

令和元年度 NHK歳末たすけあい受配事業
居場所づくり支援事業 報告書

令和2年3月

社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会
〒543-0021 大阪市天王寺区東高津12-10
TEL.06-6765-5606 FAX.06-6765-5607

